

◎旧ソ連時代

	国	体調・保養関係	原子力ロビー
1986・4・26 1986・5・1 1986・6~9	原発事故 メーデー労働者の祭典	子どもたちが避難してきた 学校ごと子どもたち3ヶ月レニングラードに保養にでる（付き添い）	
1989	汚染地区国民に公開、これより調査は公開で行われる (科学者階層と官僚の闘い) ゴルバチョフ、グラスノスチ	ゲンナジー・グルシェボイ 海外保養運動始める	・IAEA 年間40ミリシーベルトまで移住させる必要がないとまでアドバイスして無視される

◎シュシュケビッチ (科学者) 首相 ほんのいつとき自由な時代

1991~ 1992 はじめ	チェルノブイリ法成立 旧ソ連崩壊 (ウクライナ・ロシア・ベラルーシなどに独立) 経済政策に対する不満・共産主義への回顧 (老人)	海外保養運動の拡大	<p>・原子力ロビー (IAEA) 重松逸造 小児甲状腺がん 放射性起因説を否定、風土病説 →救援活動を遅らせる</p> <p>・山下俊一ら (長滝・笹川財団調査チーム WBC、エコー、血液検査) 放射能原因説認める</p> <p>・日本から甲状腺の医師たちが救援に入る (みなさんどこへいった?今は)</p> <p>・保養運動を邪魔ヤメロという広島 of 医師</p>
1996	チェルノブイリ10周年		

ルカシェンコ 長期政権 情報統制・圧力

1999年頃	外国人へチェルノブイリの情報を出さないように強化	<ul style="list-style-type: none"> ・バンダジェフスキー逮捕 ・心臓死増加 ・WBCカウンターで体外排出のものを探す ・ペクチン 	<ul style="list-style-type: none"> ・エートス運動がベラルーシへジャックロシャール（フランス）追い出される <p>国がつくった厳格な基準があるのでおかしな運動だった</p>
2006	チェルノブイリ20周年		原子力ロビー（IAEAなど） 死者4000人と過小評価して、非難をあびる
2011 2012	福島原発事故	福島県の子どもがベラルーシで保養（ベラルーシの会社や国などの招待）	<p>山下俊一らが放射能起因説を否定</p> <p>「保養」とよばず「交流」と呼ぶように要請する 日本の官僚→恥だとわからない病気</p>
2016	チェルノブイリ30周年 2基の原発を建設 (ロシアの経済支援)		